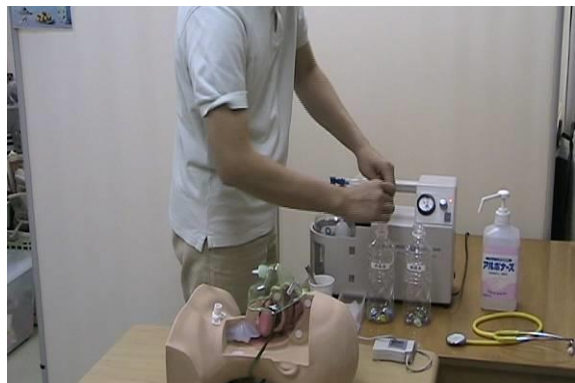


- ① 吸引器本体
- ② 吸引瓶
- ③ 連結管
- ④ 吸引圧ゲージ
- ⑤ 吸引圧調節ダイヤル
- ⑥ 始動停止スイッチ
- ⑦ 鑷子
- ⑧ 酒精綿
- ⑨ 消毒液 (吸引カテーテル浸漬用)
- ⑩ 滅菌水
- ⑪ 手指消毒剤
- ⑫ 聴診器
- (⑬パルスオキシメーター)

<p>吸引圧チェック</p> 	<p>① 連結管を塞ぐ。 ② 吸引圧調節ダイヤルで、最大吸引圧を調整する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>吸引圧 (医師の指示に従う) 気管内 : 成人150mmHg (20kPa) 小児120mmHg (15kPa) 口腔内 : 200~400mmHg (26~53kPa)</p> </div>
<p>鼻腔口腔吸引の手順 (Nasal - Oral)</p> 	<p>目的 : 口腔内や気道の分泌物、血液・吐物などの貯留物、異物を除去する。 対象 : 自己努力によるせきなどでは分泌物を取り除くことができない方。 注意点 : 鼻道の閉塞や急性の鼻や口からの出血があるときは、吸引は行わない。</p>
<p>NO-1 手指消毒</p> 	<p>滅菌手袋を使用する場合もある。 未滅菌手袋の上から消毒する場合もある。</p>
<p>NO-2 連結管取り出し</p> 	

NO-3 コネクタ接続



連結管と吸引カテーテルのコネクタを接続する。

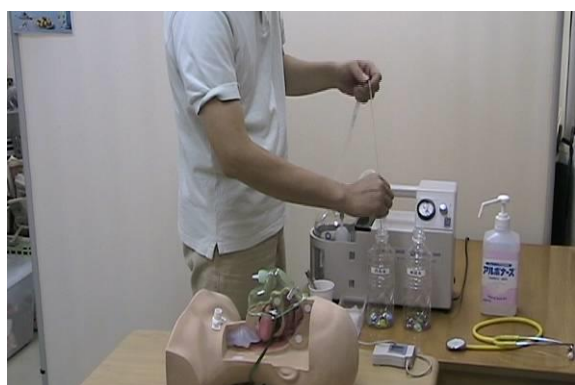


NO-4 酒精綿を取る



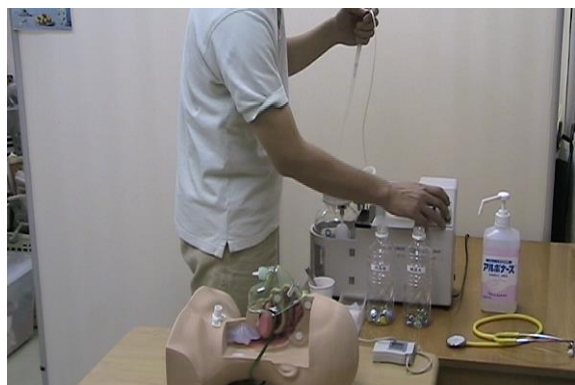
酒精綿を必要枚数（3～5枚）とり、容器を閉める。

NO-5 消毒液拭き取り





吸引カテーテルの外側に付着した消毒液を酒精綿で拭き取る。

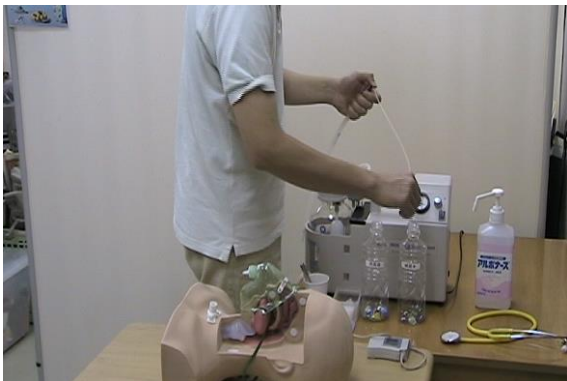

NO-6 吸引器始動



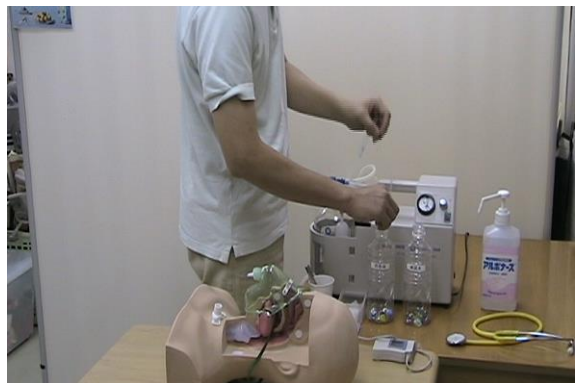
吸引器の始動スイッチを入れる。

<p>NO-7 滅菌水吸引 1</p> 	<p>① a.左手 (非利き手) の親指で吸引カテーテルを折り閉鎖。 (b.調節孔タイプは開放)</p>   <p>② 滅菌水のボトルに吸引カテーテルを挿入。</p>
<p>NO-8 滅菌水吸引 2</p> 	<p>① a.左手の親指を開放。 (b.調節孔タイプは閉鎖)。</p>   <p>② 吸引カテーテル内の消毒液を滅菌水で洗い流す。</p>
<p>NO-9 酸素マスク取り外し</p> 	<p>突然の咳嗽に注意。 (分泌物が飛散し、実施者が吸い込むことがあるので、姿勢にも注意。)</p> 
<p>NO-10 鼻腔吸引 1</p> 	<p>① a.左手の親指で吸引カテーテルを閉鎖。 (b.調節孔タイプは開放)</p> <p>② 下鼻道に対し水平に挿入する。</p> 

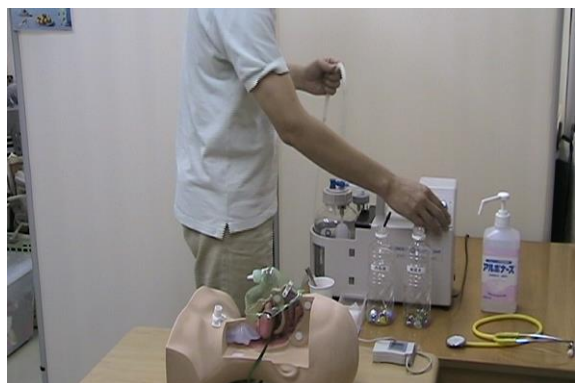
<p>NO-11 鼻腔吸引 2</p> 	<p>① a.左手の親指を開放 (b.調節孔タイプは閉鎖)</p> <p>② カテーテルを回転させながら引き抜く。</p> <p>③ 酸素飽和度を確認しながら、10～15秒以内を目安に吸引する。</p> <p>(挿入・抜去ともに持続的に吸引する方法もある。)</p>
<p>NO-12 分泌物拭き取り</p> 	<p>① 酸素マスクを戻す。</p> <p>② 新しい酒精綿で分泌物を拭き取る。</p>
<p>NO-13 口腔吸引 1</p> 	<p>① a.左手の親指で吸引カテーテルを閉鎖。 (b.調節孔タイプは開放)</p> <p>② 嘔吐反射誘発に注意。</p>
<p>NO-14 口腔吸引 2</p> 	<p>① a.左手の親指を開放 (b.調節孔タイプは閉鎖)</p> <p>② カテーテルを回転させながら引き抜く。</p> <p>③ 酸素飽和度を確認しながら、10～15秒以内を目安に吸引する。</p> <p>(挿入・抜去ともに持続的に吸引する方法もある。粘膜損傷リスク?)</p>

<p>NO-15 分泌物拭き取り</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 酸素マスクを戻す。 ② 新しい酒精綿で分泌物を拭き取る。
<p>NO-16 滅菌水吸引 1</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① a.左手の親指で吸引カテーテルを閉鎖。 (b.調節孔タイプは開放) ② 滅菌水のボトルに吸引カテーテルを挿入。
<p>NO-17 滅菌水吸引 2</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① a.左手の親指を開放 (b.調節孔タイプは閉鎖) ② 吸引カテーテル・連結管内を洗浄。
<p>NO-18 コネクタ取り外し</p> 	<p>片手で連結管とコネクタの接続を取り外す。</p> 

NO-19 消毒液浸漬



NO-20 吸引器停止



停止する前に、患者（利用者）の呼吸音が改善されているか、分泌物が除去されたかなど、状態をよく観察する。

NO-21 手指消毒

